

O-1-6-31

口腔除菌剤安定化ClO₂注入型ゲルのDental Drug Delivery Systemにおける歯肉周囲炎の経過観察

○萩原 道¹⁾, 増木 英郎¹⁾, 柳 時悦¹⁾, 荒尾 誠子¹⁾, 金森 仁志¹⁾, 小弾正 公彰²⁾, 松嶋 昭夫²⁾, 奥寺 元¹⁾

¹⁾ 東京形成歯科研究会, ²⁾ 関東・甲信越支部

Follow-up of periodontitis in the Dental Drug Delivery System of oral disinfectant stabilized ClO₂-injected gel

○OGIHARA O¹⁾, MASUKI H¹⁾, RYU J¹⁾, ARAO S¹⁾, KANAMORI H¹⁾, KODANJYO K²⁾, MATSUSHIMA A²⁾, OKUDERA H¹⁾

¹⁾ Tokyo Plastic Dental Society, ²⁾ Kanto-Koshinetsu Branch

I 目的: インプラント周囲炎や介護患者の歯周囲炎の処置はすぐに外科処置をすることなく消炎に関する戦略が臨床上必要となる。その消炎処置の薬剤は抗生物質が用いる事があるが、強力な薬剤を使用することがなく安易に消炎出来れば意義深い。私どもは安定化二酸化塩素 (ClO₂) 二酸化塩素製剤 2% Available オキシクロ種 (OxychloroSpecies) ほぼ亜塩素酸ナトリウム (Sodium Chlorite) パインメディカル (株) 東京において、過去歯科用小器具の殺菌効果や ClO₂ 洗口液によるインプラント患者の口臭抑制効果、歯周病原菌に対する抗菌効果またダブル冠内部の細菌増殖 (コロニー) および臭気抑制効果についてインプラント体チタン材への影響がないことを報告してきた。今回インプラント臨床にインプラント周囲炎や介護患者の歯周囲炎の患部消炎に関して抗生物質に頼ることが無く速やかに ClO₂ 注入容器入りにて回復できたので報告する。

II 方法の概要: 今回使用した市販口腔除菌剤安定化 ClO₂ Fresh はシリンジタイプの洗浄、浄化容器を用いて患部付近に注入するもので一日 2 回 2 週間を目標に症状の改善がどのような変化があったかを、インプラント周囲炎および歯周炎を男女 7 名平均年齢 76 歳の炎症症状の各種検査項目、ポケット深さ検査 (プラスチックプローブで慎重に挿入) 出血 排膿 発赤 腫脹の程度各 0 ~ 3 度治療各パラメーターの試験の前後の数値の変化を有意差があるか T 検定を行い比較検討した。

III 考察および結論: ポケットにおける数値の変化は術前術後、その結果各項目で有意の差が表れた。改善の変化が見られたこのことは腫脹 出血 排膿 発赤の変化もあったことから炎症が治まり歯肉が引き締まったことに起因されたと考える。ClO₂ Fresh は抗生物質に頼らなくてもこのような変化が起こることを考えれば、患者への負荷が軽減することになり、細菌のコントロールにおいても予防上意義深く Dental Drug Delivery System の口腔除菌剤の応用である。